

令和6年度通常総会

日 時 令和6年5月28日（火）午後3時～
会 場 サンロイヤルホテル エトワール

公益社団法人 鹿児島県工業倶楽部

令和6年度 公益社団法人鹿児島県工業倶楽部通常総会 次第

- 1 開会
 - 2 会長挨拶
 - 3 来賓挨拶
 - 4 成立宣言
 - 5 議長選出
 - 6 議 事
 - (1) 議事録署名人選出
 - (2) 議案
 - 第1号議案 令和5年度事業報告及び決算の承認について(案)
(監 査 報 告)
 - 第2号議案 役員の改選について(案)
 - 第3号議案 事務所の移転について(案)
 - 7 報告事項
令和6年度事業計画及び予算について
 - 8 閉会

(休 憩)
- ◇ 講演会
講 演 「稲盛哲学」
講 師 鹿児島大学 理事・副学長 武隈 晃氏
- ◇ プレゼンテーション
・奥 浩昭氏 「モノづくり企業を経営コンサルタントが支援」
・(株)タナカサトル技術支援
「企業連携による成功事例 ～急激な社会変化を乗り越えるには～」
- ◇ 公募事業の説明
・かごしま産業支援センター
- ◇ 交流パーティー

【第1号議案】 令和5年度事業報告(案)及び決算(案)について

〔事業報告〕

令和5年度の日本経済は、さまざまな要因により影響を受けた。ロシア・ウクライナ戦争の長期化やイスラエル・ハマス戦争、米国経済の堅調さによる大幅な円安進行が影響を及ぼした。日銀はマイナス金利を解除し、ようやくデフレから脱却した。

鹿児島県の経済は緩やかな回復傾向にあるとされるが、引き続き注目が必要である。

(公社)鹿児島県工業倶楽部は、異業種の交流推進や、産学官のネットワークによる企業の事業展開につながる支援、さらには、工農水産連携による農林水産業や食品産業の成長・発展への支援など、本県産業の振興や地域経済の発展に貢献することを目的としている。

令和5年度において工業倶楽部は、環境変化に対し、各企業が現状を打破し、新分野展開など事業の再構築や、企業価値を高めることに貢献する情報提供を行うとともに、各委員会、研究会等では、会員が相互にプラスの利益を生み出すビジネスの多様なつながりを生み出す契機となるよう、84プラザ、地域プラザ、八日会、逆ラボツアーなどを開催した。近年は「DX」「AI」などデジタル化の推進、SDGsなど様々なキーワードが報道されており、今後も潮流を踏まえた取組が必要である。

具体的には、工農水産連携研究会においては、地熱を活用した農業・水産業の振興を考えるべく、指宿の(株)シナジーブリーディングの生産現場の視察を行い、経営者と意見交換を行うなど、新たな分野への取組を促進した。

また、新たな取組みとして、国等の具体的な補助金申請の記載方法について考える「補助金採択を目指す研究会」を3回開催した。

産学官の連携という観点からは、鹿児島大学と主催する「第13回食と健康に関するシンポジウム」を開催(11月)し、「美容と健康長寿」をテーマとして、鹿児島大学大学院医歯学総合研究科の西准教授による「口腔機能と食事を知ってアンチエイジング」を基調講演として、情報発信を図った。

さらに、かごしま産業支援センター等と主催する「ベンチャープラザ鹿児島二水会」を開催(8月及び2月)し、会員企業の(株)中崎電子工業、三州産業(株)、(株)栄電社等が発表した。

今後も、鹿児島大学や国、県、県工業技術センター、(公財)かごしま産業支援センター、鹿児島工業高等専門学校、ベンチャープラザ鹿児島二水会等との連携強化を進め、産学官で交流とネットワーク化を図り、会員企業の新たな事業展開につながる取組みを行う。

[主要事業]

1 理事会

- (1) 令和4年度決算に係る監事監査(5/8)
- (2) 第1回正副会長会及び理事会の開催(5/15)
 - ① 入会の承認について
 - ② 令和4年度事業報告案及び決算案について
 - ③ 令和5年度通常総会について
- (3) 第2回正副会長会を開催(8/4)
- (4) 第3回正副会長会及び第2回理事会を開催(10/18)
 - ① 副会長の選任について
 - ② 職務執行状況報告について
 - ③ 新年大会について
 - ④ 事務所の移転について
 - ⑤ 「第13回食と健康に関するシンポジウム」「第83回ベンチャープラザ鹿児島『二水会』」について
- (5) 第4回正副会長会及び第3回理事会を開催(3/27)
 - ① 入会の承認について
 - ② 令和6年度事業計画及び収支予算について
 - ③ 令和6年度総会について
 - ④ 事務所の移転について

2 総会(5/31) 城山ホテル鹿児島

- ① 令和4年度事業報告及び決算の承認について
- ② 令和5年度事業計画及び予算について
- ③ 講演会
演題「100年に一度の混乱の中で鹿児島が先駆けるには」
講師 (株)日本政策投資銀行 南九州支店長 森正則氏
- ④ プレゼンテーション
 - ・(株)九州ハイテック 鹿児島営業所所長 福元潤一郎氏
「コンクリート床用コーティングシステムのご提案」
 - ・(株)フォーエバー 代表取締役 久永忠範氏
「小学校跡地を活用したICT&人材育成の拠点づくり」
 - ・鹿児島県知財総合支援窓口 新村 孝善氏
「知財を活用した支援事例」

3 第13回食と健康に関するシンポジウム

テーマ「鹿児島から発信しよう『美容と健康』」

- (1)日時 令和5年11月21日(火)
- (2)場所 鹿児島大学 稲盛会館 キミ&ケサ メモリアルホール
- (3)主催 (公社)鹿児島県工業倶楽部、鹿児島大学産学・地域共創センター
- (4)内 容
- 基調講演 口腔機能と食事を知ってアンチエイジング
鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 准教授 西 恭宏氏
- 講演1 「オクラの機能性成分によるきれいなカラダづくり」
有限会社エール 代表取締役 倉本 哲氏
- 講演2 「鹿児島在来カンキツの機能性成分でインナーケア」
鹿児島大学 農学部 助教 坂尾 こず枝氏
- 講演3 「健康長寿のための脳とからだのフレイル対策」
鹿児島大学 医学部 教授 牧迫 飛雄馬氏
- (5)参加人数 200名(うちオンライン100名)
- (6)後 援 九州経済産業局、鹿児島県、(独法)中小企業基盤整備機構南九事務局、(公財)かごしま産業支援センター、鹿児島市 ほか

4 知財総合支援窓口について

(1)令和5年度鹿児島県知財総合支援窓口の支援件数

項 目 実績等	相談支援件数 合計 A	新規相談件数 (Aの内数)	普及啓発の 訪問企業数	臨時窓口の開設 (県工業技術センター等)	
				本 土	離 島
年間計画 (件)	2, 1 0 0	3 5 0	4 0 0	4 0 回	1 2 回
3月末実績 (件)	2, 2 6 2	4 6 5	5 0 9	5 3 回	1 6 回
進捗率 (%)	108	133	127	133	133

(2)中小企業支援機関担当者連絡会議開催(8/1、3/11)

- 九州経済産業局、INPIT、県内の中小企業支援機関が出席し、中小企業の知的財産に関する事業、海外展開等に対する支援事例や実施事業について情報交換を行い、今後の連携支援の検討及び支援の高度化を図った。
- 連絡会議とは別に、県商工会連合会、県中小企業団体中央会、県産業支援センター、JETROなど個別に意見交換を行った。

(3)新聞への広告掲載

知財に親しみを持ってもらうため、漫画で記事の掲載を行った。

5 第 84、85 回ベンチャープラザ鹿児島「二水会」

新商品・サービス等の展開に当たって、業務提携先や販売先の確保、資金面のサポートなどの橋渡しの場を提供し、企業発展をサポートする。(主催：(公社)鹿児島県工業倶楽部、(公財)かごしま産業支援センター、(一社)九州ニュービジネス協議会鹿児島地域委員会)

(1) 第 84 回 (令和 5 年 11 月 15 日 (水)) ホテル・レクストン鹿児島

① (株)中崎電子工業

「鹿児島で造る！FM送信機搭載臨時災害放送システムと難聴地域対策」

② (有)エール

「オクラビューティープロジェクト ～オクラの秘密、教えます！～」

③ (株)ウィズ鹿児島

「日本一豊富な鹿児島県の竹林を有効活用した竹堆肥や竹炭などをPRし、国内外へ売り込みたい」

(2) 第 85 回 (令和 6 年 2 月 14 日 (水)) ホテル・レクストン鹿児島

① (株)アーダン

「アーダン初の医薬部外品『シルケイド』」

② 三州産業(株)

「サツマイモ基腐病用蒸熱処理装置」

③ (株)栄電社

「焼酎粕を原料とする焼酎粕乳酸発酵飼料『CAS パワー』の開発」

6 プラザ等の活動

異業種交流を旨とする当倶楽部の中心的活動であり、グループごとに自発的に例会等を開催し、講演、情報交換などを実施。

令和 5 年度は新たに「補助金獲得を目指す研修会」を開催(3 回)した。

プラザ、研究会、部会、委員会の実績は別紙のとおり

7 会報の発行

① 第 72 号 (2023 年 7 月)

(内容)総会、新会員紹介、地域とともに、活動(84 プラザ、地区プラザ)、若手後継者紹介 等

② 第 73 号 (2024 年 2 月)

(内容)新年大会、活動(研究会、プラザ、食と健康シンポ)、若手後継者紹介、会員企業トピック 等

・鹿児島国体HPとバーコードでリンク

8 その他関連事業

(1) 鹿児島大学との連携(工業倶楽部と鹿児島大学は包括連携協定締結)

- ・食と健康に関するシンポジウム(再掲)
- ・大学地域コンソーシアム鹿児島 地域連携・就業部会
- ・鹿児島大学工業倶楽部賞(令和5年度2名)

片渕 歩美(農林水産学研究科農林資源科学専攻2年)

「家畜の生産性ならびに食肉品質の評価に資する代謝物質の定量方法
の開発に関する研究」

後藤啓太(連合農学研究科生物生産科学専攻3年)

「作物の環境ストレス応答機構の解明とその応用による生育評価シス
テム開発の研究」

(2) 県教育庁との連携(インターンシップ事業講師派遣)

小中学校への会員企業(登録)による講師派遣

現在の登録会員数 6会員

(3) NPO法人鹿児島デザイン協会との連携

「かごしまデザインフェア2023」

①日 時 令和6年2月29日(木)～3月1日(土)

②場 所 かごしま県民交流センター

◇ 活動実施状況

令和5年 4月10日	八日会を開催し、情報交換を実施
18日	JICAと打ち合わせ（総会時の説明会の件）
19日	鹿児島市と打ち合わせ（デザインアワード2023の件）
5月8日	監査
15日	理事会開催
17日	84プラザを開催し「本格芋焼酎、世界に打って出るには」と題して、鹿児島県酒造組合田中専務理事が講演
29日	県商工労働水産部長、県教育長、鹿児島労働局長が事務局を訪問し、会長に対し、「来春卒業予定の高校生の県内就職促進に向けた要望書」を提出・要請
31日	令和5年度通常総会・理事会を城山ホテル鹿児島で開催 令和4年度の事業報告及び収支決算、並びに令和5年度事業計画及び収支予算(案)等について審議を行い承認・可決された。 ・講演 「100年に一度の混乱の中で鹿児島が先駆けるには」と題し、(株)日本政策投資銀行南九州支店長 森正則氏が講演 ・プレゼンテーション (株)南九州ハイテック鹿児島営業所福元所長による「コンクリート床用コーティングシステムのご提案」、(株)フォーエバー久永代表取締役による「小学校跡地を活用したICT&人材育成の拠点づくり」、鹿児島県知財総合支援窓口による「知財を活用した支援事例」と題して発表が行われた。
6月5日	「工農水産連携研究会フリートーキング」を開催
8日	「南薩地区プラザ」を開催し、(株)エルムの宮原代表取締役が「南さつま少年少女発明クラブの概要」と題した講演会を実施
9日	八日会を開催し、情報交換を実施
9日	地球環境を守るかごしま県民運動推進会議幹事会に出席（Web）
13日	「大隅地区プラザ」を開催し、マトヤ技研工業(株)の益留代表取締役が「鶏のぼんじり自動脱穀・カット機の概要」と題した講演会を実施
16日	「食と健康に関するシンポジウム」打ち合わせ（第1回）
22日	「川薩地区プラザ」を開催し、九州経済産業局の知財担当職員が「意匠と活用」と題した講演会を実施
28日	県商工会連合会が実施する「経営指導員研修会」において、倶楽部職員が「知財の基本」と題した研修を実施
30日	鹿児島大学主催の「産業支援コーディネーター会議」に出席
7月6日	「霧島・始良地区プラザ」を開催し、九州経済産業局の須藤氏が「RESAS出前講座」を実施
6日	「食と健康に関するシンポジウム」打ち合わせ（第2回）
7日	八日会を開催し、情報交換を実施
14日	地球環境を守るかごしま県民運動推進会議総会に出席
18日	「未来を拓くキャリア教育推進事業」（教育庁）連携会議に出席
31日	鹿児島県PTA連合会会長が事務局を訪問し、「高校卒業予定者の就職支援に関する要望書」を提出

8月 1日	「中小企業支援機関担当者連絡会議」を開催し、関係機関における中小企業等に対する支援計画等について、情報交換を実施
4日	正副会長会議を開催
16日	第1回「補助金獲得を目指す研修会」を開催（講師：(株)アックス）
22日	84プラザを開催し「焼酎粕・バイオマス発電の持つ無限の可能性」と題して、(株)栄電社 顧問 坂口 研三氏が講演
23日	第1回「かごしまデザインフェア」実行委員会に参加
28日	「食と健康に関するシンポジウム」打ち合わせ（第3回）
31日	工業倶楽部と奄美群島振興開発基金との連携協定を締結（知財関連）
31日	二水会開催に係る県産業支援センター等との打ち合わせ
9月1日	「中小企業DXセミナー」出席
5日	「工農水産連携 with 再エネ(指宿)」を開催 ・山川地熱発電所の視察 ・地熱を活用した農業・養殖業を営む(株)シナジーブリーディングの現場を視察
8日	八日会を開催し、情報交換を実施
13日	「食と健康に関するシンポジウム」打ち合わせ(第4回)
26日	県商工会議所連合会が実施する「経営指導員研修会」において、倶楽部職員が「知財の基本」と題した研修を実施
28日	84プラザを開催し「津貫発ウイスキーがジャパニーズウイスキー部門の最高賞を受賞」と題して、本坊酒造(株)取締役南九州事業部長 本坊昌嗣氏が講演
10月11日	八日会を開催し、情報交換を実施
16日	第2回「補助金獲得を目指す研修会」を開催（講師：(株)アックス）
18日	正副会長委・理事会を開催し、副会長の選任、上期の職務状況報告、また、新年大会等を審議し、承認された。県議会産業経済委員会、県商工労働水産部、工業倶楽部の合同懇談会を開催
26日	二水会開催に係る県産業支援センター等との打ち合わせ
11月 6日	第3回「補助金獲得を目指す研修会」を開催（講師：松代中小企業診断士） 「事業再構築補助金」・「ものづくり補助金」をテーマに開催
15日	「第82回ベンチャープラザ鹿児島二水会」をホテル・レクストン鹿児島で開催し、会員企業の(株)中崎電子工業ほか2社が発表
21日	「第13回食と健康に関するシンポジウム」を鹿児島大学稲盛会館 キミ&ケサ メモリアルホールで開催 「鹿児島から発信しよう『美容と健康』」をメインテーマとして講演会を開催した。 基調講演：口腔機能と食事を知ってアンチエイジング 鹿児島大学大学院医歯総合研究科 准教授 西 恭宏 講演1 オクラの機能成分によるきれいなカラダづくり (有)エール 代表取締役 倉本 哲 講演2 鹿児島在来カンキツの機能性成分でインナーケア 鹿児島大学農学部教授 坂尾こず枝 講演3 健康長寿のための脳とからだのフレイル対策 鹿児島大学医学部教授 牧迫 飛雄馬 モデレーター：鹿児島大学 企画・社会連携担当理事 岩井 久

27日	84プラザを開催し「VR導入による教育体制の革新～技術の伝承～」と題して、アサダメッシュ(株)鹿児島工場長 松尾満彦氏が講演
12月 8日	八日会を開催し、情報交換を実施
15日	知財入札説明会出席(オンライン)
19日	食産業部会を開催し、「鹿児島から世界の食を考える」と題して、合同会社地域のちから代表 増原伸一氏が講演
22日	「地域・中小企業の知財支援に係る連絡会議」に出席(オンライン)
1月 9日	官公庁等への年始あいさつ(知事・副知事、鹿児島市長、鹿大学長 ほか)
24日	令和6年新年大会を城山ホテル鹿児島「クリスタルガーデン」で開催 <ul style="list-style-type: none"> ・「大阪城、熊本城の電照や銀座駅、銀座のブランドショップを彩るエルム関連会社の戦略とゼロから1を生み出す秘訣について」と題し、(有)エルム代表取締役 宮原隆和氏が講演 ・プレゼンテーションとして、(株)サナスの前津晋也氏による「油脂加工デンプンのご紹介」、知財総合支援窓口の新村孝善氏による「知財窓口の主要事業の紹介」、JICA九州の企業連携課の渡邊ゆり恵氏による「JICAの海外ビジネス展開支援事業」について発表が行われた。 ・交流パーティを開催(知事ほか出席)
25日	二水会企業発表リハーサル①
2月 5日	二水会企業発表リハーサル②
9日	八日会を開催し、情報交換を実施
14日	第85回ベンチャープラザ鹿児島二水会」をホテル・レクストン鹿児島で開催し、会員企業の三州産業(株)、(株)栄電社ほか1社が発表
15日	「未来を拓くキャリア教育推進事業」(教育庁)第2回連携会議に出席
16日	鹿児島大学主催の「産業支援コーディネーター会議」に出席
27日	鹿児島県による法人監査を受検
29日	「かごしまデザインフェア」を実施(1日まで) NPO法人鹿児島デザイン協会、県と連携して県民交流センターで開催
3月 1日	「逆ラボツアー」を開催 視察先：富士フイルムビジネスイノベーションジャパン(株)鹿児島支社 テーマ：「ペーパーレスワークで実現する働き方改革体験ツアー」
6日	第2回正副会長会を開催
8日	鹿児島大学主催の「鹿児島地域留学生交流推進部会」出席
11日	中小企業支援機関連携会議を開催し、関係機関における中小企業等に対する支援計画等について、情報交換を実施
14日	鹿児島大学主催の「鹿児島地域連携・就業部会」出席
15日	かごしま産業支援センター主催の「鹿児島県プロフェッショナル人材戦略会議」出席
25日	鹿児島大学卒業式(成績優秀者2名に鹿児島大学工業倶楽部賞を授与)
27日	正副会長会・理事会を開催

◇各種会合等一覧表

月	総会・理事会 正副会長会	委員会等	プラザ・部会・研究会・講演会等	計
令和 5年 4			八日会	1
5	正副会長会 理事会、総 会		84プラザ	4
6		事業委員会	工農水産連携研究会、南薩地区プラザ、八日会 大隅地区プラザ、川薩地区プラザ	6
7		総務・広報委員会	霧島・始良地区プラザ、八日会	3
8	正副会長会	特命委員会	中小企業支援機関連携会議、補助金採択を目指 す研修会、84プラザ	5
9		事業委員会	八日会 工農水産連携研究会	3
10	正副会長会 理事会	特命委員会	八日会、補助金採択を目指す研修会	5
11		特命委員会	84プラザ、補助金採択を目指す研修会、ベン チャープラザ鹿児島「ニ水会」、「第13回食と 健康に関するシンポジウム」	5
12	正副会長会		八日会、食産業部会	3
令和 6年 1月		渉外委員会	新年大会	2
2		総務・広報委員会	八日会、ベンチャープラザ鹿児島「ニ水会」、 かごしまデザインフェア	4
3	正副会長会 理事会		逆ラボツアー、中小企業支援機関連携会議	4

◇ 各委員会活動実績

委員会名	月 日	内 容	場 所
総務・広報委員会	7月	会報No. 72号を作成・発送	鹿児島県産業会館
	2月	会報No. 73号を作成・発送	鹿児島県産業会館
渉外委員会	10月18日	県議会産業経済委員会、県商工労働水産部、工業倶楽部の合同懇談会を開催	ホテル中原別荘
	1月24日	新年大会において交流パーティを開催	城山ホテル鹿児島
特命委員会	6月16日	食と健康に関するシンポジウム 第1回 打合せ	鹿児島大学
	7月 6日	食と健康に関するシンポジウム 第2回 打合せ	鹿児島大学
	8月16日	第1回「補助金獲得を目指す研修会」開催	マークメイザン
	8月23日	食と健康に関するシンポジウム 第3回 打合せ	鹿児島大学
	9月13日	食と健康に関するシンポジウム 第4回 打合せ	鹿児島大学
	10月16日	第2回「補助金獲得を目指す研修会」開催	マークメイザン
	11月 6日	第3回「補助金獲得を目指す研修会」開催	マークメイザン
	11月21日	食と健康に関するシンポジウムを開催	鹿児島大学
事業委員会	6月 5日	工農水産連携研究会フリートーキングを開催	マークメイザン
	9月 5日	工農水産連携 with 再エネ（指宿）を開催	（指宿）

◇ 各部会活動実績

部会名	月 日	内 容	場 所
食産業部会	12月19日	(1) 講演「鹿児島から世界の食を考える」 講師 合同会社地域のちから 代表 増原伸一氏	マークメイザン

◇ プラザ活動実績

プラザ名	月 日	内 容	場 所
八日会	4月10日	近況報告、情報交換	霧島畜産国分本店
	5月16日	近況報告、情報交換	かごしま県民交流センター
	6月 9日	近況報告、情報交換	シャラトンホテル鹿児島
	7月 7日	近況報告、情報交換	サノロイヤルホテル
	8月16日	近況報告、情報交換	城山ホテルホルト
	9月 8日	近況報告、情報交換	ホテルレクストン
	10月11日	近況報告、情報交換	素敵庵本店
	11月 8日	近況報告、情報交換	城山ホテルホルト
	12月 8日	近況報告、情報交換	霧島畜産国分本店
		2月 9日	近況報告、情報交換
84 プラザ	5月17日	(1) 講演：「本格芋焼酎、世界に打って出るには」 講師：鹿児島県酒造組合 専務理事 田中完氏	マークメイザン
	8月22日	(1) 講演「焼酎粕・バイオマス発電の持つ無限の可能性」 講師：(株)栄電社 バイオ環境グループ 顧問 坂口研三氏 (2) 質疑応答	マークメイザン
	9月28日	(1) 講演 「津貫発ウイスキーがジャパニーズウイスキー部門の最高賞を受賞」 講師 本坊酒造(株) 取締役南九州事業部長 本坊昌嗣氏 (2) 質疑応答	マークメイザン
	11月27日	(1) 講演「VR導入による教育体制の革新～技術の伝承～」 講師 アサダメッシュ(株) 鹿児島工場長 松尾満彦氏 (2) 質疑応答	マークメイザン

◇ 地 区 プ ラ ザ

プラザ名	月 日	内 容	場 所
南薩地区	6月 8日	講演 「南さつま少年少女発明クラブ」の概要 講師 (株)エルム 代表取締役 宮原隆和氏	(株)エルム
大隅半島地区	6月13日	講演 「鶏のぼんじり自動脱骨・カット機」の概要 講師 マトヤ技研工業(株) 代表取締役 益留福一氏	曾於市役所
北薩地区	6月22日	講演 「意匠と活用」 講師 九州経済産業局	川内ホテル
始良・霧島地区	7月 6日	講演 「RESAS講座」 講師 九州経済局 地域経済課 須藤 哲氏	始良公民館

◇ 逆 ラ ボ ッ ア ー

プラザ名	月 日	内 容	場 所
逆ラボ ター	3月 1日	視察 「ペーパーレスワークで実現する働き方改革体 験ツアー」 視察先 富士フィルムビジネスイノベーションジャ パン(株)鹿児島支社	同 左

◇ 研 究 会 活 動 実 績

研究会名	月 日	内 容	場 所
工農水産 連携研究 会	6月 5日	工農水産連携研究会を開催 工農水産連携に関し、関心のあるテーマ等について フリートーキングを実施 山川の地熱発電視察に合わせて、次の視察先等を組 み合わせるよう調整を図ることとなった。 ① 指宿のバナメイ養殖業者現場の視察 ② 山川漁港の海藻の活用 ③ 指宿市の「地熱の恵みプロジェクト」懇談会	かごしま 県民交流 センター 大会議室
	9月 5日	「工農水産連携 with 再エネ(指宿)」を開催 ① 山川発電の視察 … 九電職員による説明 ② (株)シナジーブリーディングの農業(トマト) とバナメイ養殖現場を視察 ※ いずれも地熱を活用した取組	指 宿

MEMO

(1-1) 貸借対照表

貸借対照表

令和6年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	7,197,981	5,686,586	1,511,395
未収金	5,160,744	5,543,055	△ 382,311
流動資産合計	12,358,725	11,229,641	1,129,084
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	9,520,000	9,460,000	60,000
基本財産合計	9,520,000	9,460,000	60,000
(2) 特定資産			
委員会等活性化積立資産	677,493	677,489	4
特定資産合計	677,493	677,489	4
(3) その他固定資産			
什器備品	1	1	0
電話加入権	72,800	72,800	0
その他固定資産合計	72,801	72,801	0
固定資産合計	10,270,294	10,210,290	60,004
資産合計	22,629,019	21,439,931	1,189,088
II 負債の部			
1. 流動負債			
短期借入金	3,500,000	3,500,000	0
未払金	624,706	397,977	226,729
預り金	496,712	310,033	186,679
前受会費	10,000	0	10,000
未払消費税等	685,800	646,500	39,300
流動負債合計	5,317,218	4,854,510	462,708
2. 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	5,317,218	4,854,510	462,708
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
基本財産	0	0	0
特定資産	0	0	0
指定正味財産合計	0	0	0
2. 一般正味財産	17,311,801	16,585,421	726,380
(うち基本財産への充当額)	(9,520,000)	(9,460,000)	(60,000)
(うち特定財産への充当額)	(677,493)	(677,489)	(4)
一般正味財産合計	17,311,801	16,585,421	726,380
正味財産合計	17,311,801	16,585,421	726,380
負債及び正味財産合計	22,629,019	21,439,931	1,189,088

(2-1) 正味財産増減計算書

正味財産増減計算書

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

(単位：円)

科目	当	年	度	前	年	度	増	減
I 一般正味財産増減の部								
1. 経常増減の部								
(1) 経常収益								
① 基本財産運用益								
基本財産利息収入			186			186		0
② 特定資産運用益								
特定資産利息収入			4			0		4
③ 受取入会金								
入会金			60,000			30,000		30,000
④ 受取会費			9,827,500			9,925,000		△ 97,500
正会員			8,427,500			8,525,000		△ 97,500
10,000円×40会員			400,000			410,000		△ 10,000
30,000円×39会員			1,170,000			1,200,000		△ 30,000
55,000円×15会員			825,000			825,000		0
80,000円×33会員			2,640,000			2,800,000		△ 160,000
105,000円×13会員			1,365,000			1,365,000		0
130,000円×5会員			650,000			650,000		0
155,000円×8会員			1,240,000			1,240,000		0
新規会員×5会員			137,500			35,000		102,500
								計158会員
賛助会員会費			1,400,000			1,400,000		0
100,000円×10会員			1,000,000			1,000,000		0
200,000円×2会員			400,000			400,000		0
								計12会員
⑤ 受取補助金			200,000			700,000		△ 500,000
令和5年度指導団体助成金(鹿児島市)			200,000			200,000		0
第41回宮崎銀行ふるさと振興助成事業助成金			0			500,000		△ 500,000
⑥ 受取負担金			662,500			469,000		193,500
総会懇談会負担金			371,000			0		371,000
新年大会懇談会負担金			291,500			469,000		△ 177,500
⑦ 事業収入								
知財総合支援窓口運營業務			29,916,698			29,707,003		209,695
⑧ 雑収益			45,070			32,252		12,818
経常収益計			40,711,958			40,863,441		△ 151,483

正味財産増減計算書

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

(単位：円)

科目	当	年	度	前	年	度	増	減
(2) 経常費用								
① 事業費				20,387,006		19,724,135		662,871
給料手当				10,003,810		9,661,335		342,475
賃金				1,187,390		904,950		282,440
福利厚生費				1,637,246		1,573,412		63,834
表彰費				21,820		30,760		△ 8,940
旅費交通費				1,341,865		1,278,117		63,748
通信運搬費				444,732		555,499		△ 110,767
消耗品費				421,852		630,752		△ 208,900
印刷製本費				238,975		315,577		△ 76,602
会議費				921,137		696,305		224,832
諸謝金				11,023		0		11,023
賃借料				1,772,057		1,691,875		80,182
支払負担金				234,000		224,000		10,000
広告料				542,500		542,500		0
支払利息				43,839		22,286		21,553
租税公課				1,382,850		1,373,900		8,950
雑費				181,910		222,867		△ 40,957
② 管理費				19,598,572		19,743,190		△ 144,618
給料手当				14,779,919		15,069,682		△ 289,763
福利厚生費				2,079,799		2,087,948		△ 8,149
賃金				21,000		0		21,000
退職金掛金				288,000		288,000		0
退職金				0		0		0
旅費交通費				12,860		102,267		△ 89,407
通信運搬費				271,916		279,994		△ 8,078
消耗品費				540,103		391,071		149,032
印刷製本費				344,300		267,190		77,110
諸謝金				11,023		53,411		△ 42,388
賃借料				1,058,949		1,041,368		17,581
租税公課				2,100		1,200		900
雑費				188,603		161,059		27,544
公益目的事業費振替額				0		0		0
経常費用計				39,985,578		39,467,325		518,253
当期経常増減額				726,380		1,396,116		△ 669,736
2. 経常外増減の部								
(1) 経常外収益								
経常外収益計				0		0		0
(2) 経常外費用								
経常外費用計				0		0		0
当期経常外増減額				0		0		0
当期一般正味財産増減額(他会計振替前)				726,380		1,396,116		△ 669,736
他会計振替額				0		0		0
一般正味財産期首残高				16,585,421		15,189,305		1,396,116
一般正味財産期末残高				17,311,801		16,585,421		726,380
Ⅲ 正味財産期末残高				17,311,801		16,585,421		726,380

正味財産増減計算内訳書

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

科目	公益目的事業会計	収益事業等会計	法人会計	合計
(2) 経常費用				
① 事業費	18,693,601	0	1,693,405	20,387,006
給料手当	10,003,810		0	10,003,810
賃金	1,187,390		0	1,187,390
福利厚生費	1,626,246		11,000	1,637,246
表彰費	21,820		0	21,820
旅費交通費	1,336,465		5,400	1,341,865
通信運搬費	421,245		23,487	444,732
消耗品費	421,852		0	421,852
印刷製本費	148,225		90,750	238,975
会議費	129,617		791,520	921,137
諸謝金	11,023		0	11,023
賃借料	1,402,457		369,600	1,772,057
支払負担金	0		234,000	234,000
広告料	542,500		0	542,500
支払利息	43,839		0	43,839
租税公課	1,359,800		23,050	1,382,850
雑費	37,312		144,598	181,910
② 管理費	16,903,008	0	2,695,564	19,598,572
給料手当	13,303,914		1,476,005	14,779,919
福利厚生費	1,708,939		370,860	2,079,799
賃金	16,800		4,200	21,000
退職金掛金	172,800		115,200	288,000
退職金	0		0	0
旅費交通費	9,002		3,858	12,860
通信運搬費	190,341		81,575	271,916
消耗品費	378,070		162,033	540,103
印刷製本費	241,010		103,290	344,300
諸謝金	7,716		3,307	11,023
賃借料	741,264		317,685	1,058,949
広告料	0		0	0
支払利息	0		0	0
租税公課	1,130		970	2,100
雑費	132,022		56,581	188,603
公益目的事業費振替額	0			0
経常費用計	35,596,609	0	4,388,969	39,985,578
	0		0	
当期経常増減額	△516,012	0	1,242,392	726,380
2. 経常外増減の部	0		0	
(1) 経常外収益	0		0	
	0		0	
	0		0	
経常外費用計	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額(他会計振替前)	△516,012	0	1,242,392	726,380
他会計振替額	535,500		△535,500	0
一般正味財産期首残高	13,526,178		3,059,243	16,585,421
一般正味財産期末残高	13,545,666	0	3,766,135	17,311,801
Ⅲ 正味財産期末残高	13,545,666	0	3,766,135	17,311,801

財務諸表に対する注記

1. 継続事業の前提に関する注記

該当事項なし

2. 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法

固定資産の減価償却は、定額法を採用している。

(2) リース取引の処理方法

通常の賃貸借処理に係る方法に準じた会計処理を適用している。

(3) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込み方式によっている。

3. 会計方針の変更

該当事項なし

4. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は次のとおりである。

(単位：円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	9,460,000	60,000	0	9,520,000
小計	9,460,000	60,000	0	9,520,000
特定資産	677,489	4	677,493	677,493
小計	677,489	4	677,493	677,493
合計	10,137,489	60,004	677,493	10,197,493

5. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は次のとおりである。

(単位：円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
定期預金	9,520,000	(0)	(9,520,000)	—
小計	9,520,000	(0)	(9,520,000)	—
特定資産				
部会・プラザ等活動活性化促進資産	677,493	(0)	(677,493)	—
小計	677,493	(0)	(677,493)	—
合計	10,197,493	(0)	(10,197,493)	—

6. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は次のとおりである。

(単位：円)

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高	備考
プロジェクター	135,975	135,974	1	
合計	135,975	135,974	1	

7. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次の通りである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
補助金						
令和5年度指導団体助成金	鹿児島市	0	200,000	200,000	0	—
合計		0	200,000	200,000	0	—

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細
「財務諸表に対する注記」に記載
2. 引当金の明細
引当金なし

(4)

財産目録
令和6年3月31日

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・数量等	使用目的等	金額	
現金預金		鹿児島銀行本店No. 1350394	運転資金	1,819,494	
		鹿児島銀行本店No. 3087965 (知財)	運転資金	4,749,115	
		南日本銀行本店No. 484160	運転資金	629,372	
		鹿児島銀行 本店 No. 1681505	運転資金	0	
			小計	7,197,981	
未収金	受取会費 事業収入	令和4・5年度会費		240,000	
		知財総合支援窓口運営業務		4,920,744	
			小計	5,160,744	
	他会計貸付金		小計	0	
流動資産合計				12,358,725	
基本財産	定期預金	鹿児島銀行 本店①No.4165698	公益目的及び管理目的としての 共有財産 ・公益目的82.2% ・管理目的17.8%	3,520,000	
		鹿児島銀行 本店②No.4138426		3,000,000	
		鹿児島相互信用金庫 本店No.1635703		3,000,000	
				小計	9,520,000
特定資産	普通預金	鹿児島銀行本店No. 3170092	委員会等活性化積立資産	677,493	
その他固定資産	什器備品	プロジェクター1台	公益目的及び管理目的としての 共有財産 ・公益目的83% ・管理目的17%	1	
	電話加入権	099-225-8012 他4回線		72,800	
固定資産合計				10,270,294	
資産の部 合計				22,629,019	
短期借入金				鹿児島銀行 運転資金借入	3,500,000
未払金	2月分社会保険料	健康保険・厚生年金・子ども・子育て拠出金		208,622	
	3月分社会保険料	健康保険・厚生年金・子ども・子育て拠出金		206,556	
	通信料	インターネット、電話回線使用料等		60,941	
	消耗品費	(株)久永、富士ゼロックス鹿児島		111,812	
	会議費	令和5年度第3回理事会懇談会費		12,100	
	賃借料	令和5年度第3回理事会会場代		22,000	
	雑費	振込料等		550	
		R5年度確定労働保険料差額		2,125	
		小計		624,706	
他会計借入金	他会計借入金		小計	0	
預り金	預り金	2月分社会保険料	職員分預り	204,014	
		3月分社会保険料	職員分預り	201,948	
		令和5年度第3回理事会	懇談会費預かり金	90,750	
			小計	496,712	
前受会費	令和6年度会費	1名分		10,000	
未払消費税等	鹿児島税務署	R5年度消費税及び地方消費税		685,800	
他会計振替 (繰越残高調整)				0	
流動負債合計				5,317,218	
固定負債合計				0	
負債の部 合計				5,317,218	
正味財産額				17,311,801	
負債及び正味財産合計				22,629,019	

監 査 報 告 書

令和6年5月10日

公益社団法人鹿児島県工業倶楽部

会長 岩 元 正 孝 殿

監事 餅 田 淳 一 

監事 谷 口 克 也 

私たち監事は、令和5年4月1日から令和6年3月31日までの令和5年度の理事の職務の執行について監査を行いましたので、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第99条第1項の規定に基づき本監査報告書を作成し、以下のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

私たち監事は、理事会に出席し、理事等からその職務の執行状況について報告を受けるとともに、重要な書類を閲覧し、業務及び財産の状況を調査しました。以上の方法により、当該年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討しました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該年度に係る計算書類及びその附属明細書並びに財産目録について監査しました。

2 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

- ① 事業報告及びその附属明細書、財産目録は、法令及び定款に従い、当倶楽部の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算書類及びその附属明細書の監査結果

計算書類及びその附属明細書は、当倶楽部の財産及び損益の状況を全て重要な点において適正に表示していると認めます。

【第2号議案】 役員の変更について（案）

理事の選任

- | | |
|---------|-----------------------------|
| ㊦ 岡 秀実 | (株)下堂園 代表取締役社長 |
| ㊦ 嶋原 広高 | (株)システムビジョン 代表取締役 |
| ㊦ 重田 幸男 | 京セラ(株)鹿児島国分工場 工場長 |
| ㊦ 塘 正光 | (株)エム・エム・シー 専務取締役 |
| 岩元 正孝 | カクイ(株) 代表取締役 |
| 横山 勝一 | 大協(株) 代表取締役 |
| 鮫島 吉廣 | (鹿児島大学客員教授) |
| 弓場 秋信 | 弓場貿易(株) 代表取締役 |
| 本坊 一浩 | (株)サナス 代表取締役社長 |
| 上田平 重樹 | インターマン(株) 代表取締役社長 |
| 水口 毅 | (ウェイク・アップシステム 代表) |
| 満石 公一 | (株)栄電社 代表取締役 |
| 尾塚 エイ子 | (有)尾塚水産 取締役 |
| 門 久義 | (鹿児島大学名誉教授) |
| 米山 高兆 | ((公財)鹿児島県移植医療アイバンク推進協会事務局長) |
| 脇野 真梨江 | (株)クライベスト代表取締役 |
| 小谷 俊明 | (小谷照明デザイン 代表) |
| 神菌 俊一 | (株)コレクトプラン 代表取締役 |
| 坂元 昭宏 | 坂元醸造(株) 代表取締役社長 |
| 田中 覚 | (株)タナカサトル技術支援 代表取締役 |
| 尾崎 直樹 | (株)トヨタ車体研究所 取締役常務役員 |
| 竹迫 昭人 | 濱田酒造(株) 取締役副社長 |
| 林 隆秀 | (株)ハヤシエネルギーシステム 代表取締役 |
| 東 和博 | (東国際特許事務所 所長) |
| 寶來 豊晴 | 宝来メデック(株) 代表取締役 |
| 板山 孝司 | (有)マチダ商事 取締役会長 |
| 益留 福一 | マトヤ技研工業(株) 代表取締役 |
| 岩重 昌勝 | (協)ユニカラー 代表理事 |

監事の選任

- | | |
|--------|---|
| ㊦ 森 直樹 | 鹿児島相互信用金庫 執行役員
地域支援部 地域支援課・業務企画課担当部長 |
| 餅田 淳一 | 餅田淳一税理士 代表 |

(退任)

理事 佐々木一朗 かねだい食品(株) 常務取締役
小坂 秀成 京セラ(株) 鹿児島国分工場長
藤崎 茂実 藤崎商事(株) 代表取締役
中間 孝一郎 (株)エム・エム・シー 代表取締役

監事 谷口克也 鹿児島相互信用金庫 執行役員
本店ブロック長 本店営業部長 兼 上町支店長

[関係条文]

公益社団法人鹿児島県工業倶楽部定款 (抜粋)

(役員の種類及び選任)

第11条 この法人に、次の役員を置く。

(1) 理事 20人以上30人以内

(2) 監事 2人

2 理事及び監事は、総会の決議によって選任する。

～略～

5 会長、副会長及び専務理事は、理事会の決議によって理事の中から選定する。

(役員任期)

第13条 理事及び監事の任期は、選任後2年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する通常総会の終結の時までとする。(略)

2 理事及び監事は、再任されることができる。

【第3号議案】事務所の移転について(案)

背景と方向性

- ・ 令和5年2月に、県は、県産業会館を「廃止する」旨の方向性を示した。
- ・ 会館が築50年を越え老朽化し、耐震基準も満たしていないため、県中小企業団体中央会や県商工会連合会から、県に対して、県有地において中小企業会館建設の要請があったことに伴うものであり、完成のあかつきには、県産業会館から全ての団体が移転する必要があるとされた。
- ・ 産業会館は、令和6年度末で「廃止」としており、それまでに移転する必要がある。
- ・ 特許庁からの委託の「知財総合支援窓口」事業は、令和6年度～7年度の窓口業務の開札の結果、落札できなかったため、組織規模に見合った事務所へ移転を行う必要がある。

参考

(場所選定の考え方)

- ① 現在の家賃等の自己負担額と大きく変わらないこと。(6万円程度)
- ② 公共交通機関が十分にある、又は駐車場があること。
- ③ 産業支援センター等と必要に応じて連携が図れこと。

移転先(案)

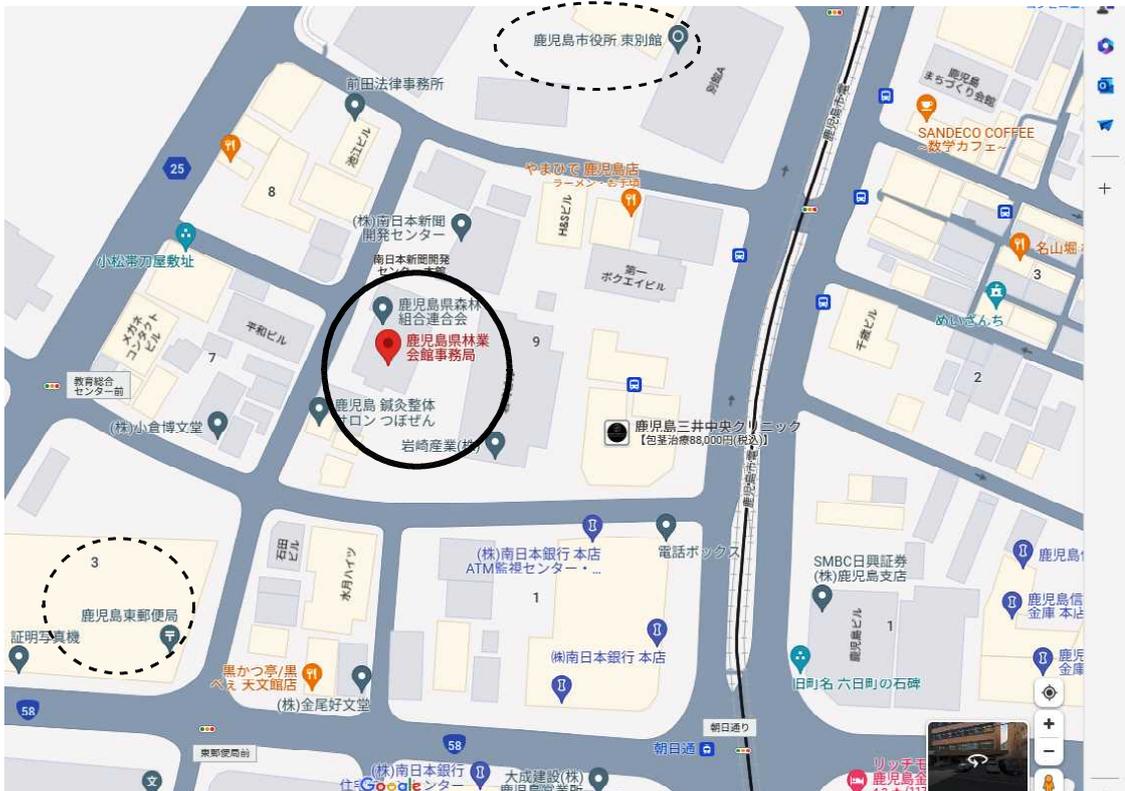
鹿児島県林業会館 4階 事務所1室(築53年)

(住所) 892-0816 鹿児島市山下町9番15号

(貸主) 鹿児島県木材協同組合連合会

(面積) 10坪(共益費込み月額60,000円)

(入居) 10月1日(10月～11月)



中央を間仕切って利用
(10坪)



【報告事項】 令和6年度事業計画及び収支予算について

1 基本方針

我が国は、本格的な人口減少や危機的な少子化の進行、経済のグローバル化や急速な技術革新の進展、生成AIやカーボンニュートラル、そして賃上げへの動きなど大きな変革期の中にある。

また、国連が提唱するSDGs(持続可能な開発目標)には多くの企業が賛同し、これに対応しようという取組が盛んになっている。企業にとってのSDGsは、いまだ開拓されていない巨大な市場を獲得するための大きな「機会」となり得る。

工業倶楽部は、製造業の競争力の強化及び本県の基幹産業である農業、水産業との連携や、将来を担う新産業の創出に取り組み、今後も様々な団体との協働を深め、異業種交流を深化させ、パートナーシップによるビジネスチャンスを拡大するために、デジタル技術を活用し、DXを推進し、大きく変化する経営環境や状況に対応できる企業の成長に貢献することを目指す。

特に、ChatGPTは、2023年3月には最新のGPT-4が公開され、マイクロソフトのコパイロットも同様に注目を集めている。今後、活用は必須となることから、動向に留意していく必要がある。

また、今後の成長が見込まれる情報通信関連や環境・新エネルギー、ロボット関連分野への取組みとともに、熊本に進出するTSMCの動向等も注視する必要がある。新たなビジネスチャンスを獲得すべく、自社の企業価値向上や競争力強化を実現するセミナー等を開催する。

平成2年以降事務所を設置してきた県産業会館は、令和6年度末に廃止する方針が示された。そのため、年度内の事務所移転を図る。

会員外の企業・団体等も含め、国及び県並びに鹿児島大学、県工業技術センター、かごしま産業支援センター等との連携を一段と強化して、当倶楽部の活動が県内の産業振興に寄与するよう積極的に各種施策を展開する。

2 主要事業

(活性化事業)

- | | |
|------------------|------------|
| ① 公募事業への取組み | 【特命委員会】 |
| ② 企業変革力強化に対する提案等 | 〃 |
| ③ SDGsに関連する事業の推進 | 〃 |
| ④ 新規会員の加入促進 | 【総務・広報委員会】 |

(異業種交流事業)

- ① 時代を先取りする異業種交流事業の実施【事業委員会】
 - ・企業ニーズと大学等のシーズを活用した自社製品の開発や販路拡大等の促進による経営基盤の強化
 - ・医療、農林水産、環境、エネルギー、観光等多分野にまたがる異業種交流を促進し、事業拡大や新製品開発を促進
- ② 県外の工業団体等との交流促進【渉外委員会】
 - ・九州内の工業団体等の交流による情報交換及び連携
 - ・鹿児島大学、かごしま産業支援センター、県工業技術センター、二水会との連携
 - ・県外産業界等との交流による会員の事業拡大、資質向上の促進
- ③ プラザ、部会、研究会、地区プラザの活性化推進【事業委員会】
- ④ 農業、林業、水産業と連携した産業育成に向けての研究 //
- ⑤ IoT や AI などデジタル技術等を活用した新たな事業展開の研究 //

(産・学・官連携事業)

- ① 鹿大との交流連携の推進
 - ・企業のニーズと大学等のシーズのマッチングによる事業化の支援、推進【渉外委員会】
 - ・「食と健康に関するシンポジウム」の開催【特命委員会】
- ② 産業支援センターとの連携推進
- ③ 若者就職活動に関するサポート活動の強化【特命委員会】
 - ・インターンシップの支援
- ④ 会員大学教授・名誉教授等による相談対応【渉外委員会】

(事務所の移転に向けた取組)

【総務・広報委員会】

(広報・デザイン開発事業)

- 工業倶楽部のイメージアップ及び知名度拡大【総務・広報委員会】
- ・県、県議会、マスコミ等との交流推進
 - ・会員企業の活動や実績等の情報発信に努め、HP等の活用による事業連携及び会員増強並びに知名度アップ

3 予算の執行に当たって

- ・委託事業の獲得による収入の増加を図る。
- ・引越費用の削減等による経費削減を図る。
- ・基本財産の取り崩しが必要な場合は、改めて理事会で諮る。

正味財産増減予算書 (案)

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

(単位: 円)

科目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用収入			
基本財産利息収入	188	188	0
② 特定資産運用収入			
特定資産利息収入	4	0	4
③ 受取入会金			
入会金	90,000	90,000	0
④ 受取会費			
正会員	9,970,000	10,075,000	△ 105,000
10,000円×41会員	410,000	430,000	△ 20,000
30,000円×41会員	1,230,000	1,290,000	△ 60,000
55,000円×15会員	825,000	770,000	55,000
80,000円×34会員	2,720,000	2,800,000	△ 80,000
105,000円×13会員	1,365,000	1,365,000	0
130,000円×6会員	780,000	780,000	0
155,000円×8会員	1,240,000	1,240,000	0
計158会員			
賛助会員会費	1,400,000	1,400,000	0
100,000円×10会員	1,000,000	1,000,000	0
200,000円×2会員	400,000	400,000	0
計12会員			
⑤ 受取補助金			
令和6年度指導団体助成金 (鹿児島市)	200,000	200,000	0
⑥ 受取負担金	1,050,000	1,350,000	△ 300,000
総会懇談会負担金	525,000	675,000	△ 150,000
新年大会懇談会負担金	525,000	675,000	△ 150,000
⑦ 事業収入			
知財総合支援窓口運營業務	0	30,294,895	△ 30,294,895
⑧ 雑収益	50,000	50,000	0
受取利息等収入	50,000	50,000	0
			0
経常収益計	11,360,192	42,060,083	△ 30,699,891

正味財産増減予算書 (案)

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

(単位: 円)

科目	当 年 度	前 年 度	増 減
(2) 経常費用			
① 事業費	2,223,000	22,048,545	△ 19,825,545
給料手当	0	9,980,274	△ 9,980,274
賃金	13,000	1,435,896	△ 1,422,896
福利厚生費	0	1,638,246	△ 1,638,246
表彰費	35,000	60,000	△ 25,000
旅費交通費	129,000	1,300,378	△ 1,171,378
通信運搬費	30,000	849,867	△ 819,867
消耗品費	0	443,483	△ 443,483
印刷製本費	110,000	343,980	△ 233,980
会議費	920,000	1,601,000	△ 681,000
諸謝金	20,000	20,000	0
賃借料	560,000	1,929,521	△ 1,369,521
支払負担金	234,000	234,000	0
広告料	10,000	570,000	△ 560,000
支払利息	7,000	100,000	△ 93,000
租税公課	23,000	1,399,900	△ 1,376,900
雑費	132,000	142,000	△ 10,000
② 管理費	13,562,000	19,861,153	△ 6,299,153
給料手当	8,700,000	15,066,276	△ 6,366,276
福利厚生費	1,450,000	2,175,877	△ 725,877
退職金掛金	288,000	288,000	0
旅費交通費	69,000	66,000	3,000
通信運搬費	270,000	282,000	△ 12,000
消耗品費	350,000	382,000	△ 32,000
印刷製本費	360,000	332,000	28,000
諸謝金	20,000	40,000	△ 20,000
賃借料	1,200,000	1,041,000	159,000
支払手数料	740,000	0	740,000
租税公課	2,000	2,000	0
雑費	113,000	186,000	△ 73,000
公益目的事業費振替額			
経常費用計	15,785,000	41,909,698	△ 26,124,698
当期経常増減額	△ 4,424,808	150,385	△ 4,575,193
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益		0	
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用		0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額(他会計振替前)	△ 4,424,808	150,385	△ 4,575,193
他会計振替額			
当期一般正味財産増減額	△ 4,424,808	150,385	△ 4,575,193
一般正味財産期首残高	17,311,801	16,585,421	726,380
一般正味財産期末残高	12,886,993	16,735,806	△ 3,848,813
Ⅲ 正味財産期末残高	12,886,993	16,735,806	△ 3,848,813

正味財産増減予算内訳書(案)

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

(単位:円)

科目	公益目的事業会計	収益事業等会計	法人会計	合計
(2) 経常費用				
① 事業費	285,000	0	1,938,000	2,223,000
給料手当	0		0	0
賃金	0		13,000	13,000
表彰費	35,000		0	35,000
旅費交通費	60,000		69,000	129,000
通信運搬費	10,000		20,000	30,000
消耗品費	0		0	0
印刷製本費	0		110,000	110,000
会議費	150,000		770,000	920,000
諸謝金	20,000		0	20,000
賃借料	0		560,000	560,000
支払負担金	0		234,000	234,000
広告料	10,000		0	10,000
支払利息	0		7,000	7,000
支払手数料	0		0	0
租税公課	0		23,000	23,000
雑費	0		132,000	132,000
② 管理費	10,190,800	0	3,371,200	13,562,000
給料手当	6,960,000		1,740,000	8,700,000
福利厚生費	870,000		580,000	1,450,000
退職金掛金	172,800		115,200	288,000
旅費交通費	48,000		21,000	69,000
通信運搬費	190,000		80,000	270,000
消耗品費	245,000		105,000	350,000
印刷製本費	250,000		110,000	360,000
諸謝金	14,000		6,000	20,000
賃借料	840,000		360,000	1,200,000
支払手数料	520,000		220,000	740,000
租税公課	1,000		1,000	2,000
雑費	80,000		33,000	113,000
公益目的事業費振替額				
経常費用計	10,475,800	0	5,309,200	15,785,000
当期経常増減額	△ 5,220,702	0	795,894	△ 4,424,808
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	0
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額(他会計振替前)	△ 5,220,702	0	795,894	△ 4,424,808
他会計振替額	0		0	0
当期一般正味財産増減額	△ 5,220,702		795,894	△ 4,424,808
一般正味財産期首残高	13,545,666		3,766,135	17,311,801
一般正味財産期末残高	8,324,964	0	4,562,029	12,886,993
Ⅲ 正味財産期末残高	8,324,964	0	4,562,029	12,886,993

◇ 講 演

演 題：稲盛哲学

講 師：鹿児島大学 理事・副学長（教育担当）

武隈 晃 氏



（プロフィール）

昭和 56 年 3 月 筑波大学体育専門学群卒業

昭和 58 年 3 月 筑波大学大学院体育研究科修了

昭和 59 年 4 月 鹿児島大学教育学部講師

平成 2 年 10 月 鹿児島大学教育学部助教授

平成 16 年 4 月 鹿児島大学教育学部教授

平成 22 年 4 月 鹿児島大学教育学部長（～平成 26 年 3 月）

平成 26 年 4 月 鹿児島大学教育学部附属教育実践総合センター長

（～平成 31 年 3 月）

平成 28 年 4 月 稲盛アカデミー長（～現在）

平成 31 年 4 月 国立大学法人鹿児島大学理事・副学長（教育担当）

（～現在）